

令和6年度 第1回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和6年7月29日(月) 10時00分～12時15分
- (2) 場所 さいたま市役所別館2階第7委員会室

2 出席者

(1) 委員

新保	奈穂美	委員
土屋	一彬	委員
福岡	孝則	委員(会長)
加倉井	憲一	委員
二宮	靖男	委員
吉沢	浩之	委員
黒田	真弓	委員
渡邊	保子	委員
煙山	亜由美	委員
高橋	和宏	委員(代理出席：江原 宏和氏)

(2) 事務局

みどり公園推進部長	麻生 和彦
みどり公園推進部次長	小山 史男
参事兼みどり推進課長	武笠 勤
参事兼見沼田圃政策推進課長	山田 豊
みどり推進課	課長補佐兼係長 井口 宏樹、 課長補佐兼係長 佐久間 新、 主査 斎藤 綾架、技師 児玉 将吾、 主事 清水 伴泰
見沼田圃政策推進課	主査 大橋 賢、主任 高木 耕平
都市公園課	課長補佐兼係長 山見 佳子、技師 阿部 正宏

3 傍聴者数

0人

4 議事概要

(1) 会長及び職務代理者の選出

- 事務局 審議会の会長は、さいたま市みどりの条例の規定によりまして、委員の互選により定めることとなっております。事務局から提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 会長の選出は、委員の皆様方の互選ということですが、10名の委員の皆様のうち7名が新しく、委員にお願いさせていただいているという中で、お互いに推薦することも難しいというところで、事務局の方から推薦をさせていただければと思っております。
- 事務局を代表いたしまして、福岡委員を会長としてご提案をさせていただきたいと思います。福岡委員につきましては、国のグリーンインフラ、研究等で、知見、経験等を数多く有しておりますので、会長に適任ではないかと考えておりますことから、会長の推薦をさせていただくというところでございます。各委員、いかがでしょうか。
- 委員一同 異議なし。
- 事務局 福岡委員、会長をお願いしてもよろしいでしょうか。
- 福岡委員 はい、わかりました。
- 事務局 福岡委員に本審議会の会長をお願いいたします。福岡会長に就任のご挨拶を頂戴したいと思います。
- 福岡会長 只今、会長の職を承りました福岡と申します。私は、東京農業大学の造園科学科に所属しており、もともとは都市緑地計画学を学びまして、その後、海外でランドスケープデザインの仕事をした後に、神戸大学建築学科で教え、2017年から東京農業大学で今の職に就いています。この仕事から、様々な自治体の公園整備、緑のまちづくりや、グリーンインフラの会議体に関わって参りました。
- 今回、さいたま市さんの審議会ということで、本来審議会は割と内容も決まっていて、承認すべき会議であり、あまりそのような会議は引き受けたくないという最初は話をさせていただきました。
- さいたま市の皆様の話の聞いていると、職員の皆さんの熱量に驚かされました。さいたま市の今の取組については、見沼田圃から都心の緑まで、可能性と課題も多くありますが、様々なプロジェクトを見せていただき、これは審議会として、皆様と議論して進めていく上で非常に、可能性がある自治体と思い、お引き受けさせていただきました。
- この審議会は、議論の場でもありますし、貴重な意見交換の場でもありますので、私はしっかりと皆様のご意見を取りまとめつつ、是非良い議論の時間を作っていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局	続きまして、職務代理者の選出に移ります。さいたま市みどりの条例の規定により、会長が職務代理者を指定することとなっておりますので、福岡会長より職務代理者を指名していただけますでしょうか。
福岡会長	本審議会の委員を長く務められている新保委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
事務局	職務代理者は新保委員お願いするということで、皆様よろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
事務局	新保委員から、ご挨拶を頂戴したいと思います。
新保委員	皆様、おはようございます。改めまして、兵庫県立大学の新保と申します。私は、兵庫県から来ていますが、もともとはさいたま市に住んでおりまして３０年以上ここにおりました。よく知っているところになります。そういうこともありまして、専門の見地も生かしながら、地元の見地を生かして、様々なことを実現させていく計画は、昨年度無事にできたということで、職員の皆様のご尽力だと思いますけれども、これからは、それを実現させるためのプロセスを支援できたらと思っております。よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。審議会の運営にあたりまして、さいたま市みどりの条例の規定によりまして本会会長に議長となっていただきます。これからの会議の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

（２）報告事項

福岡会長	報告事項について、事務局より説明をお願いします。
事務局	〔資料１ 緑の基本計画の概要の説明〕 この後、リーディングプロジェクトの各取組が今後進めていこうと考えてございまして、これから説明をさせていただきたいと思っております。引き続き、担当より説明させていただきたいと思っております。

（３）議題

福岡会長	事務局より説明をお願いします。
事務局	〔資料２ リーディングプロジェクト１の説明〕
福岡会長	ご説明ありがとうございました。リーディングプロジェクト１、主に大宮ストリートプランツに関して、今年度の展開のご説明がありました。それから、ページ数で言いますと１５ページから１７ページまでのグリーンインフラの可視化に向けた動きの２点、ご報告がありました。こちらに関してもし、ご意見等ありましたら、ぜひ挙手をい

ただいて、ご発言いただければと思います。いかがでしょう。

はい、新保委員、お願いします。

新保委員

とても意欲的なプロジェクトが、どんどん進められて、とても良いなと感じております。大宮ストリートプランツに関して3点、質問とコメントがあります。まず10ページで、昨年実施した山丸公園の効果検証について、子どもが走り回れない自転車に乗れなくなったという点が挙げられたと思います。ここに関して、何か動線を工夫するとかいうことはあるのかということをもまず1点伺いたいです。逆に言えば、何か少し対策をしたほうがいいだろうなというところですか。2点目はみかんと書いてありますが、これは食べられる物を植えているかをお聞きしたいです。最近エディブルシティなど、食べられるものを街中に植えていくということが結構注目されているので、そういうこともされているのかということ。あと、3点目は鐘塚公園で今年やられるということですが、大宮駅西口の鐘塚公園はソニックシティに隣接しているということもあり、コンサートの日は、かなり滞留構造が見られると思いますが、そのあたりの動線の工夫などはされるのかを伺いたいです。よろしくお願いいたします。

福岡会長

新保委員、ありがとうございます。1点目は動線の干渉、2点目はエディブルシティの食べられる植物を入れるかどうか。3点目は、イベント時の動線との干渉に関してということだと思います。事務局の方からお願いします。

事務局

まず山丸公園で昨年度実施した際には、走り回れなくなったなどのご意見を頂戴したところになります。山丸公園が、やはり広場的になっており、近くにマンションもあって、普段だとスケボーみたいな遊び方をしているお子さんとか、よくいらっしゃるような場所でございます。

大宮ストリートプランツは、今まで検証した中では、ある程度まとまりのある空間を作りつつ、ブロックごとに分けていくようなやり方が一番良いだろうと考えておりました、この結果を踏まえつつ、今年度は鐘塚公園になりますが、特に大宮駅西口側のオフィスワーカーの方々もよく利用されるような場所となります。オフィスに向かって通行される方々も多くいらっしゃるような場所になりますので、昨年度の山丸公園の結果も踏まえ、もともとの滞在できる空間がありまして、外灯との間の部分に配置するなど、動線を狭めないような工夫をしていたいと考えております。13ページの左下の図では、緑色の丸でSPと明記されていることが、大宮ストリートプランツのこととなりまして、主な動線は避けたような配置の考え方を示しております。もともとの行動も阻害しないようにしながら、うまくプラ

新保委員 スの効果が出るようにできればと考えております。

新保委員 例えばマクロに大きくみて阻害しないだろうと視点と、その検証とともに、ミクロにどの程度植栽を近づけておくべきかなど、配置の効果検証もしていただければいいかなと思いました。

事務局 その辺りの視点も踏まえながら、進めさせていただければと思います。次に２点目の食べられるような植物につきましては、食べられるようなものも配置していますが、設置する場所によって植物の樹種を変えております。例えば、飲食店前に設置する場合は、虫が寄りつかないようなハーブ系の植栽を配置するなど、棲み分けをしているような状況でございます。

新保委員 ちなみに、ハーブも含めて、みかんは飾ってあるだけで、特に収穫などをしないということですか。

事務局 収穫は行っていないですが、利用者の方々に興味を持っていただけるように配置をしております。３点目のイベント時の動線については、鐘塚公園で配置する期間に、５つ程度のイベントが開催される予定でございますので、イベントによっては大宮ストリートプランツを生かしたようなレイアウトに配置するなど、また動線的に難しい場合は、一時的に移設するタイミングなどもあるところでございます。

新保委員 可動式の特徴を生かして、そのようなことをされるとよりいいのかなと思います。

福岡会長 新保委員ありがとうございました。その他ご意見コメント等ございますでしょうか。もしございましたら、挙手をお願いします。

黒田委員 はい、黒田委員、お願いします。

黒田委員 市民公募の黒田です。よろしくお願いいたします。今、新保委員から可動式の特徴を生かすとのことのご意見がありました。ストリートプランツが設置される期間中、同じ場所、同じスタイルで設置するのではなく、その時々イベント等に対応して植栽の位置を移動し、デザインを変えて設置することにより、同じ公園が違った表情を見せてくれると思います。変化することによってストリートプランツに興味をもっていただき、さらに公園を利用される方が楽しめる景色が作れると思いました。そのあたり如何お考えでしょうか。

福岡会長 はい、事務局の方からご説明をお願いします。

事務局 委員おっしゃられたとおり、可動式の特徴というところもございまずので、今後そのようなところも検討できればと思っております、こちらの大宮ストリートプランツは、最初に実施した際は、植栽の下にキャスターを設置しておりました。キャスターを設置した結果、どうしても強風のときに、安定性がよくない状況でしたので、今後可動式の特徴を生かして、バランスのいいような構造を検討できればと

考えております。

黒田委員 ストリートプランツのバランスの良いプランターの構造という点で、レイズドベッドというボックス型のプランターがあります。安定感があり高さがでるので、大人、子供、車椅子を利用されている方の目線がストリートプランツに近くなり、花やみどりを身近に見ることができます。各自治会と協業してレイズドベッドを手作りするところから花やみどりを植える機会を作れると、親しみがわきさらに人を呼び込んでいくきっかけになると思いました。

福岡会長 黒田委員、ありがとうございました。多分このプログラムの作り方というか、プランターを置いて始めたプロセスに関してのご意見とあります。こちらに対して事務局は如何でしょうか。

事務局 委員おっしゃられたようなご意見は、すごく勉強させていただきながら聞いておりましたけれども、大宮ストリートプランツにつきましては、今までは、イベントの会場に植栽とイベントと組み合わせて実施していたこともありましたが、皆さんの方で作り上げたものを公園などに持ってくるという取組は、今まで行ったことがなかったので、市民の方に愛着を持っていただけるような仕掛けができるといいのかなと感じました。

黒田委員 市民の方からの暑くてベンチに座れないというご意見について、緑視率の検証を通して、ストリートプランツを置くことにより環境がより快適になれるように設置されるといいと思いました。猛暑に対してストリートプランツでは対応できない所には、より強力に直射日光を防ぐ大きな木や屋根付きのパーゴラの設置も検討していただけると嬉しいです。

福岡会長 2つご意見いただいたと思います。事務局の方は如何でしょうか。

事務局 1つ目の緑視率に関しましては、これまでの検証で数値として、言い切れるのか疑問がありましたが、やはり画角のとり方でかなり数値が変わるところがございます。外から見た緑視率については、その空間に訪れる方々の視点によるとと思いますが、今回は滞在性との結びつきを検証することを目指しておりますので、実際に座った方の視点から緑視率を展開できたらと考えております。実際の滞在性と緑視率の高さが、どの程度が丁度いいのかということも、数値として示すことが理想と考えております。

黒田委員 緑視率とはどういうものなのか、緑視率を高める目的はなんなのか、基本的な取り組みを説明していただけると嬉しいです。去年の緑視率の結果を踏まえて、今年度の緑視率に対する方針はどのようにするのか、緑視率の達成をどこに設定するのか等、わかりやすく紹介していただけると理解しやすいです。

- 事務局 2つ目の暑さ対策という点は如何でしょうか。
- 事務局 2つ目の暑さ対策として大きな木や屋根付きのパーゴラを設置することにつきましては、ストリートプラン自体が可動式の植栽という特徴を持っているところがありますので、まずは既存の空間と組み合わせ、大きな樹木による緑陰など享受できるよう、今年度は既存の樹木に寄せるような配置を検討しているところでございます。
- 福岡会長 黒田委員、新保委員の意見に重なる形になりますが、おそらく樹木の高さが、緑陰を提供するほどの大きさではないので、今シェードと言っているものについて、効果があまりないところが、少し気になりました。例えば、WBGT値など簡単に機械で取れたりするので、その日の気温など、またシェードも、もしかしたら上に何か少し素材を変えたりすると、快適値が変わったりするかと思います。この値と滞在時間の相関みたいなものは、簡単に取れると思いましたが、一つ工夫してみると良いと思いました。様々な数字が取れるので、何の数字を取っているのかというところは、これまでもっては難しいと思いますが、先ほどのご発言でなるほどと思ったことは、今回は公園に設置をされるということでは、現在の空間の居心地、質を高めるという意味では有効だと思えますが、何もない駐車場や利用など、これから動かしていきたい都市の中で、リーディングプロジェクトとして選定していくというやり方もあると思ってお聞きしておりました。
- 事務局 皆さん、ご意見は沢山あると思いますが、今日は3つのプロジェクトがございまして、まずご説明をさせていただいて、その中でまたお気づきの点があれば、ご意見いただきたいと思います。続きまして、次のプロジェクトについて、事務局の方からご説明をお願いいたします。
- 事務局 [資料2 リーディングプロジェクト2 パークマネジメントの説明]
- 福岡会長 次のリーディングプロジェクトは、パークマネジメントに関するものですが、今回ご参加の皆様は、日頃からマネジメントに関わっておられると思いますが、ぜひ、こちらに関してもご意見、それからコメント等いただければと思います。是非、挙手をいただいてご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。
- 事務局 続けて、ガーデンツーリズムの展開に関してもご説明させていただければと思いますので、リーディングプロジェクトの2番目として、ご審議いただければと思います。
- 事務局 [資料2 リーディングプロジェクト2 ガーデンツーリズムの説明]

福岡会長 ご説明ありがとうございました。
 さいたま市のパークマネジメント、それからガーデンツーリズムに関するリーディングプロジェクト2の説明と思います。委員の皆様から、是非ご意見いただきたいと思います。いかがでしょうか。
 土屋委員、お願いします。

土屋委員 ご説明ありがとうございました。先ほどのリーディングプロジェクト1との関係で伺いたいと思います。先ほど山丸公園のお話はございましたが、それと今回のパークマネジメント等の取り組みということが、どういう関係があるのかを伺えればと思います。
 個別のプロジェクトで動いていることは、大変素晴らしいと思いますけれども、リーディングプロジェクト間の関係が今後重要になるかと思っています。

福岡会長 土屋委員、ありがとうございました。それでは、事務局の方からご説明をお願いします。

事務局 パークマネジメントの取組を進めるにあたり、現在は本市が目指すべき全体の方向性を示すようなものとして、検討を進めているところです。また、リーディングプロジェクト1～3は定めておりますが、つなぐという視点で連携というご意見といただきましたので、検討できればと思っております。

土屋委員 はい、ありがとうございます。先ほどのリーディングプロジェクト1について、公園に関して、テストしてフィードバックしていこうと考えられていることは非常に素晴らしいと思います。その動かし方のご説明が、あまりなかったことが少し気になっておりまして、つまりどういう人が出てきたデータを見て、どういう人が意見を出して、どういう人が次の年のことを決めていくのかということが非常に重要だと思います。そういう意味では、パークマネジメントの関係者が関わるべきと思いますし、或いは公園であれば、例えば山丸公園であると隣接する区の施設などもあると思いますので、そこで働かれている方が、おそらく関わっていないようにも見受けられて、実際に隣接する場所を利用されている方などの視点も含めて、パークマネジメントということだと思います。リーディングプロジェクトに期待することは、そういうまわし方というか、実行し検証して、そのフィードバックの最後に戻る部分ところでの体制といいますか、その辺についてもし検討できる余地があればご検討いただければ大変ありがたいと思います。

福岡会長 事務局の方から意見がございましたら、如何でしょうか。

事務局 昨年度のストリートプランツプロジェクトは、山丸公園で1ヶ月程度の社会実験を実施し、どの程度の効果があるのかを検証するため、

小規模で実施したところですが、公園利用者の行動が少し限られるというような課題もあったと認識しております。

今年度は、大宮駅西口のオフィスで働いている方々が、よく休憩場所として、食事などされている鐘塚公園で、少し規模を大きくし、実施させていただこうと思っており、公園利用者の分析を中心に検証していきます。一方、大宮駅周辺では、少し居心地いい空間がもう少し求められると考えており、今年度の鐘塚公園での取組については、パークリノベーションに繋がるような基礎調査として視野に入れながら、事例収集等も始めていこうと考えております。今回の公園の検討の考え方は、おそらくパークマネジメントの方にもフィードバックしていく必要があると考えております。

結果的には、リーディングプロジェクト1の行動分析の結果をパークリノベーションの考え方へ、さらには全体の方針となるパークマネジメントへという流れをつくり出していこうと考えているところでございます。

土屋委員 おそらく、大宮駅東口のストリートの取組は、フィードバックの体制がかなり地元との連携などが確立されていると思いますので、参考しつつ、うまく回っていく仕組みが構築して頂けると思っております。

福岡会長 土屋委員、貴重なご意見ありがとうございました。リーディングプロジェクトは、4ページ目の真ん中につなぐというところに戻して、もう1回統合して共有して、スパイラルアップするという流れが概念では書かれています。実際では、皆さんで会議されフィードバックして、どれぐらいの規模でやるかなど1年目は様々なプロジェクトが進んでよいと思います。それが、2年目3年目で先ほど公園の再整備と話がありましたけれども、どういう形で最終的な場所に落とし込んでいくのか、それとも仕組みを作るのか、仕掛けるのかというところが、少し全体像が見えるといいのかなと思いました。それでは、その他ございましたら、挙手の方お願いいたします。

渡邊委員、お願いします。

渡邊委員 20ページのパークマネジメントの取組について、さいたま市における都市公園の取り組み状況とありまして、市内約1,000公園があり、それを7～15グループと明記されています。この1,000公園は、住宅の中にある小規模な公園も含めて、グループ化されているという理解でよろしいのでしょうか。管理運営は、これは税金使っている部分もあるかと思いますが、市の予算はどういう考えで行っているのかという、そもそもの質問になります。意見としましては、公園のストック効果な発揮という部分など、このような大規模な公

園では、レストランなど集客できるようなものが整理されていくとよいというところで、他の案があるのかをお聞きしたいです。あと3つ目として、17公園のルールづくりについて、このような協議会を設置していますということですが、別所沼公園に続いて、次の検討をされているかをお聞きしたいです。先ほど説明のリーディングプロジェクト1にもあったとおり、遊んでいた場所が遮られたところがあったということですが、自宅近くの公園でも、やはり子どもがサッカーできなくて、自治会の方たちのゲートボールが優先されているというところもあり、そのような協議をする場合は自治会レベルなのか、小さい公園でも、協議会という形で持った方がいいのかということをお聞きしたいです。

福岡会長 渡邊委員、ありがとうございます。それでは、事務局の方からご説明をお願いします。

事務局 まず初めに指定管理については、小規模な公園である身近な公園は、街中には地域の公園も含めて、都市公園であれば指定管理者制度を活用して包括的に管理しているところでございます。指定管理の予算は、指定管理費として、市の方から指定管理者制度としてお願いしているような内容となります。続きまして、公園のストック効果に係るPark-PFIの展開として、現在、与野公園、（仮称）埼玉県立総合教育センター跡地公園、さぎ山記念公園及び（仮称）岩槻南部新和西地区近隣公園においてPark-PFI制度を活用しており、順次整備を進めてまいります。最後に協議会の展開については、別所沼公園で協議会制度を活用して、検討を進めている中で、より身近なボール遊びなど、そういうところが地元の方々や利用者の方々と協議をしていく必要があると考えております。協議会として設置すべきか、またはもう少し検討しやすいような体制を進めていく必要があると考えているところです。

福岡会長 二宮委員、お願いします。

二宮委員 先ほど7グループの指定管理者が、15グループになったとおっしゃっていましたが、細かく増やしたということでしょうか。例えば、7グループを公園緑地協会や民間事業者など、そういうところ以外の指定管理者の数が増えた、先ほど説明がありました。さらに細かいところまで増やしたということでしょうか。あまり具体的な名前がなくても良いのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。大手の指定管理者として、公園緑地協会や民間事業者など、さらに細かいところ小さな公園に、細分化して増やしたという理解でよろしいですか。

事務局 対象とする公園は、昨年度に引き続き、同じような対応をしております。

す。細分化にあたっては、スポーツに特化した公園やプールの団体であるなど、より細かく分けることで新しい事業者も参入しやすくなるのではないかと考え、細分化を行いまして、現在は15グループに分けて管理しているところでございます。

二宮委員

私は、みどり愛護会の上加自然の森というところで支部長をしていまして、2年前に亡くなった方から話を聞いて関わっています。埼玉県の森林インストラクター会の関係も行っております。それから、江東区の公園で年間10数回の自然観察会、昨日は実は加倉井委員のNPO法人エコ・エコの主催で、見沼自然公園で専門家の観察会を8時半まで、子どもたちと一緒に勉強会しました。こういう取組を通して、今問題になっている少子化ということもありまして、子どもたちに伝えていくガイドや案内を行っており、伝える立場であります。先ほど説明がありましたところは、新しい言葉が多くあり、勉強になりまして、あまり緑などをイメージがわからず、まだ私の認識がないところですが、伝える立場からすると、例えば三橋総合公園や公民館でも、子どもたちに年に1回やっています。それから、三貫清水が鴨川沿いにあります。番場公園の近くに、上加自然の森があります。

そのような場所をつなげていくと、市民が楽しめることになるという、一応歩くような表示もあります。そういうところを上手く活用して、市民に親しんでもらうような公園と公園をつなぐといえますか、桜の回廊では、見沼田圃のグループの成功例として挙げられると思いますが、そのような取組や可動式植栽の話題について、昨年ヒマラヤ杉の発祥の地を訪ねる観察会を行いました。その時、元町に寄った際に可動式植栽がありまして、すごく垢抜けている感じがしました。山下公園の植栽もすごく豊富で、やはり横浜はすごく先進例としては素晴らしいと思いました。都内の例で言いますと、私はまち歩きも好きで、例えば皇居のお濠の周辺のマラソンコースの下に各都道府県の花が描かれています。さいたま市もそういうもので親しむ工夫も必要だと思います。伝える立場でお話ししましたが、今回の委員会で事例を頂きましたので、勉強させて頂きたいと思います。

福岡会長

二宮委員ありがとうございました。今、色々ご発言頂きました。多分本日は、どちらかというとハードの主導のプロジェクトの話が多かったと思いますので、非常に重要な視点だと思います。ありがとうございました。時間もございますので、続きましてリーディングプロジェクトの3について、事務局の方からご説明をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

事務局

〔資料2 リーディングプロジェクト3の説明〕

福岡会長

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明は、リーディングプ

プロジェクト3の持続可能な緑地に向けた公民連携の推進と、続いて見沼田圃の取組の2件、お話がありました。以上の2つに関して、委員の皆様からご意見コメント等ありましたら、お願いします。

加倉井委員、お願いします。

加倉井委員 NPO法人エコ・エコの加倉井です。27ページの持続可能な緑地に向けた公民連携の推進について、1番の森を育てる人材の確保で、学生、大学生、高校生に、是非活動に参加してもらいたいと考えていますが、なかなか難しいです。そこで、先月、大宮国際高校に集まりがありまして、出向いたところ、ボランティアをやってみたいけれども、何か知識を得たいといわゆる労力奉仕ではなくて、知識を得たいという学生、保護者が多かったです。是非、単位制度。つまり、ボランティアに参加すれば、中学生で言えば内申書に書いてもらい、高校入試にはプラスになることや、大学入試にやはり学習になる単位の創設をお願いできたらと思っています。さいたま市内にも市立の高校がありますので、優先的にそのような制度がつかれないかの検討をお願いしたいと考えています。なかなか教育委員会との関係もあると思いますけれども、最近の制度は、結構シビアですから、私の点が認められれば参加しようという高校生もいるのではないかと思います。大学生に関しては、埼玉大学から大学院生が1年、それから独協大学から1名、論文の作成で私どもの活動に参加してくれました。大学生に関しても、積極的に環境に取り組むという単位が認められれば、参加してくれるのではないかと考えています。ドイツの場合は、徴兵制ありますけれども、環境ボランティアで参加すれば、兵隊に行かなくていいという制度があったものですから、日本は通じませんが、進路に関係するところはシビアですから、ぜひ考慮していただきたいと思います。

福岡会長 加倉井委員、ご意見ありがとうございました。今のご意見に関して、事務局の方からご説明ありましたらお願いいたします。

事務局 私どもの方にも同じようなお話をお伺いすることがありまして、学校とも協力するなど、ボランティアの活動が具体的なものに繋がるような方向を調べていきたいと考えております。先ほどの説明の中で、芝浦工業大学の学生に提案を募集しているという説明しましたが、その中で、やはり先ほど加倉井委員がおっしゃられたような、学生がその単位を取得しないと卒業できないようなアイデアも少しありました。そのような中で、学生も少しその点については、継続的に検討していただいている部分もありますので、そちらも参考にしながら、私ども進めていきたいと考えています。

福岡会長 多分、いきなり単位認定は難しいと思いますので、まずはプロジェク

トの中で、学びとして、草刈だけをやるというと、なぜ私たちが草刈りをやらないといけないのですかという生徒も最近多いです。植物の説明をして、観察をした後に主に草を刈って、それをつぎ込むという何のために行っているのかということをしちゃんと伝えるってことは、すごく貴重なご意見だと思います。もちろん、この学校ということで、特定して参加していただくということも大事だと思いますが、プロジェクトで公募すれば、いろんなところから参加できる形もあると思いましたので、認定に行く前にいろいろやるべきこと、検討することもあるというふうに思いました。非常にリアルなご意見かと思えます。

本日、プロジェクトにかかわらず、まだご発言いただいてない委員の皆様がおられますが、全体を通じてでも構いませんので、何かコメント、ご意見等ございましたら、ぜひお願いいたします。

吉沢委員、お願いします。

吉沢委員

リーディングプロジェクト2のガーデンツーリズムについて、現状のところで、このガーデンツーリズムの検討に当たってのきもは、ウォークابلとネットワーク化と言えらると思えますが、特に回遊性の創出促進という部分では、商店街との連携に関しては、地域の活性化はすごく耳ざわりのいい言葉ですけども、その中の切り口の1つとして商店街との連携が有効と思っています。ただ一方で、これ本末転倒かもしれませんが、商店街自体が実はさいたま市内のかなり衰退というか、今力がない元気がない状況がありますので、これが1つの起爆剤になるといいなと少し期待しているところです。それに対しての考え方、連携の考え方について、お聞きしたいところです。

それから、先ほどご説明の中で、見沼区と緑区のオープンガーデンの話がありました。これもおそらく10年近くやられていると思えます。ほとんどが個人宅のご協力が多いですけども、何件かは企業、或いは花いっぱい運動が関わっていると思えます。実は、個人のオープンガーデンに参画いただいている方々の中では、見ていただけるといふ満足感を持っていらっしゃる方が多く、紐解いていくと新たに発掘できる可能性があると思っています。今は4～5月頃にオープンガーデンを行っており、時期が限られていますが、四季折々とはいかないとしても、冬は別にして秋にも開催できるような発掘みたいなものも取り組んでいただけると、地域の活性化に限らず、コミュニティの活性化にも繋がるという視点で、ガーデンツーリズムがあってもいいという意見とさせていただきます。

福岡会長

吉沢委員、ありがとうございます。事務局の方からありましたらお願いいたします。

事務局

まず1点目の商店街関係の方々との連携について、我々も当検討を進めていくに当たりまして、地域に根づいているまちづくりに資するような団体様との連携していく必要があると考えております。例えば、商工会関係とネットワークがあろうと思われる金融機関などの方にアプローチを行いまして、協働も視野に入れるなどし、商店街様との連携も関わっていけるような取組も必要になっていくと考えているところでございます。

また、先ほどのオープンガーデンは、確かに春先の方で行っていただいておりますが、いろんな時期での開催につきましても、オープンガーデンを実施している関連部局と連携する必要があると思っております。

福岡会長
煙山委員

もしご意見あれば、煙山委員、お願いします。

さいたま市におかれては、国の政策を注視しながら、様々な取組をこのリーディングプロジェクトで実装していただいている、大変ありがたく思っております。国では、5月末に都市緑地法等の一部を改正する法律が成立してございます。優良緑地確保計画認定制度が創設され、特別緑地保全地区の機能を維持増進するような取組を積極的に支援するというような、スキームも組み込んでおります。これらの新しい制度内容と本リーディングプロジェクトの内容等がうまく紐付いた形で、今後実装されていければなと思っております。リーディングプロジェクト1で掲載されているグリーンインフラの可視化に向けた動きについては、リーディングプロジェクト2のパークマネジメントでも、公園DXやグリーンインフラの保全活用という視点を課題として載せていただいておりますし、リーディングプロジェクト3の見沼田圃などの取組においてもグリーンインフラの可視化はうまく活用できると思いましたので、そういったリーディングプロジェクト同士の連携について引き続き、実装させながら検討いただければと思っております。

最後にガーデンツーリズムについても、積極的に地域の皆様と連携していただきながら進めていただいている、非常に良いガーデンツーリズムの内容になりそうだと思っております。国土交通省で進めているガーデンツーリズムの登録に向けて、もしご検討いただいているようであれば、やはりテーマ性という点が認定を受ける際には重要かと思われます。今のところは大宮駅周辺で、地域の魅力を発見するようなワークショップ進めていただいておりますけれども、今回は浦和駅周辺で行うなど、エリアがどんどん広がっていくと、その分少しテーマ性のまとまりを整理する必要があるかと思っておりますので、その点をご留意いただきながら、各地域の魅力について整理いた

福岡会長 煙山委員、ありがとうございます。ただいまのご意見に関して、事務局の方から、もし、ご説明がありましたらお願いします。

事務局 国の方での動きは、勉強させていただきながら進めておりまして、リーディングプロジェクト1のグリーンインフラの可視化では、可視化の視点としてまちづくりGX等の国の動きを参考に進めたいと考えております。煙山委員のおっしゃるとおり、グリーンインフラの可視化につきましては、他のプロジェクトと連携できるような要素が含まれていると考えております。例えば、リーディングプロジェクト1で可視化するグリーンインフラの基礎的な情報やグリーンインフラの重要度などにつきましては、パークマネジメントの考え方を整理する材料となりますし、ガーデンツーリズムとの関わりで言えば、樹木により緑陰がある路線の情報などと組み合わせることによって、ルート設定する参考になるものと考えております。リーディングプロジェクト間でも連携を深めながらできたらと考えております。

福岡会長 高橋委員代理、お願いします。

高橋委員 リーディングプロジェクトを長々と行ってしまうことは違うと思いますので、早めにある程度決着というか成果を見せていかないといけないだろうと思っています。

(代理：江原氏) 吉沢委員にお伺いしたいのですが、今回滞在時間の検証がある程度結果が出たのであれば、例えば滞在時間が増えれば、商店街などに人が寄ってくるということに繋がると思います。今商店街が少し難しいという話がありましたが、商店街の中で少しプランターの話や、このような取組ができる余地があり、今度はこのようなお客さんが来ましたよというような形に持っていければ、それが全国に発信できて、市の価値も高まると思います。

それともう1つネイチャーポジティブエコノミーの観点から見ても、エコツーリズムは非常に大事で、本市のガーデンツーリズムの話になりますが、ここは渡邊委員、黒田委員にどうすれば、この取組に消費者として参加していただけるものかお聞きしたいと思います。先ほどの吉沢委員の話にもありましたが、商店街やカフェなどと絡められたら参加できるなど、ガーデンの他に、例えばこういうことがあったら良いのではという一消費者、参加者としての立場でお話いただければと思います。

福岡会長 吉沢委員、お願いします。

吉沢委員 先ほどの商店街の関係の話について、このガーデンツーリズムを行うに当たって、例えば商店街という単位で言うとすごくエリアが広がってしまうと思います。衰退という部分でいうと、おそらく中心

部に存在する商店街が比較的元気なところと思っており、全てはなかなか難しいと思います。そういう中で、個性のある商店、飲食店は結構あると思いますので、例えばモデルエリアがあったときに、このようなお店があるなどのご提案ができるかもしれません。商店街という括りだとなかなか難しいかと思います。

福岡会長 吉沢委員、ありがとうございます。それから2つ目のご質問で、もし何かお答えがあれば、ご発言をお願いします。

渡邊委員 簡単な方法としては、やはり園芸店と連携して、チラシを積極的に置かせてもらうことが一番効果的と思っています。本来の市の趣旨としては、満遍なく、花と緑が好きになる、市民を育てようということかもしれませんが、認知度を上げていくという意味では、やはり花が好きな人を優先的に、最初はそのような取組をさせていただいて、それから広がると思います。最近若い方は、園芸が好きでも結構忙しい方が多いといいますか、30代40代の特に女性も共働きが多く、なかなか自分の足を運んでいこうという動機づけが難しいので、園芸店が企画しているようなものであれば、少し行ってみようと感じ、そのような方々がSNSでPRして、このような素敵なガーデンだったと意外と広がっていくのではないかと考えます。

福岡会長 黒田委員、お願いします。

黒田委員 私はガーデンツーリズムに、自然の中で花やみどりに触れたいと思う魅力あるテーマ、さいたま市の自然を知り体験できる学びの場、さいたま市の特産やスイーツを味わえる場、自ら体験し作った作品をお土産として持ち帰り、体験を振り返ることができる事の4つを期待しています。発信は、市報、さいたま市のホームページ上から紹介していただけると安心ですし信頼して閲覧することができます。

福岡会長 ありがとうございます。

本日のリーディングプロジェクトの3つに関しては、皆様のご意見にたびたびありましたが、すべて何らかの関係を持っているわけで、それを全体でどのように統合していくのかという話と、統合したものはもう1回それぞれのプロジェクトに戻していくのかという視点が大事だと思います。おそらく、庁内では横断型の会議をされていると思いますが、関わる主体も非常に多岐にわたるものですから、その辺りと委員からお話ありましたけど、リーディングプロジェクトとなりますので、早く効果的に火をつけるようなところを目指されているのか、3年ぐらいで、どういうところまで持っていき、自走してもらうみたいなのは、このプロジェクトのベース感があると思います。

最後に、事務局の方から、今日のリーディングプロジェクト3つの全

体の統括について、事務局の方にお考えをいただいて、それから最後に報告事項をいただきたいと思います。それでは、事務局にて、このリーディングプロジェクトも含めて全体のまとめのコメントいただければと思います。

事務局

福岡会長の取りまとめいただいたご発言のとおりでございまして、緑の基本計画では、3つのリーディングプロジェクトが連動するような概念を示してございます。現時点、各プロジェクトが動き出している過程の中、繋がっていくだろうと見えてきたところの段階でございまして。今回審議委員の皆様にご提示させていただいて、各プロジェクトの連携や連動により、プロジェクトが別のプロジェクトをうまく引き出すなど、そのようなご意見が多かったと感じておりますので、リーディングプロジェクトということもあることから、できれば時系列を意識しながら、各プロジェクトの動きを関係する所管課と共有し、今年度及び次年度以降の展開を部内でも検討していきたいと考えております。

福岡会長
事務局
福岡会長

議題は以上となりますが、事務局からの連絡事項等をお願いします。
〔参考資料3 2027年国際園芸博覧会の開催概要の説明〕

ありがとうございました。

委員の皆様のご協力のもと、円滑に議事を進行することができました。また本日のご意見の中で、多分足りない部分や後で考えていたことなどもあると思います。そのようなご意見は、事務局の方にぜひお寄せいただいて、次回まで時間が空いてしまいますので、そのようなご意見なども随時お寄せいただくという形で多分よろしいかなと思います。

事務局

皆様にご協力をいただきました会議の方は、これで議事のほう終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

（閉会の挨拶）

以上をもちまして令和6年度第1回さいたま市花と緑のまちづくり審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。